

# 令和6年度 町単独 宅地造成関連 特環公共下水道管渠埋設工事( 1工区)

## 数量計算書

令和 6 年 7 月

管径 路線番号

φ200 箕輪町 八乙女 地区 町道及び造成地内新設道路(開削)

682-1

L= 49.50 m

下段:当初

管路延長	管渠延長	基礎延長	管 材 料					付 帯 工				掘 削 工			砂 基 礎 工			本 管 土 工			埋 戻 工			残 土 処 分 工				
			塩化ビニール管					舗装切斷工	舗装版取り壊し工	As殻処分工		機 種	機 種	機 種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	発生土	発生土	発生土	200H機込	0.45H機込	0.8BH機込	
			直 管	可換継手 φ150	可換継手 φ200	分岐付側管継手 φ150-150	支 管 φ150-150	アスファルト t=15cm迄	アスファルト t=15cm迄	アスファルト t=15cm以上	アスファルト t=15cm迄																	アスファルト t=15cm以上
m	m	m	本	湖	個	個	箇所	m	m	m	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
49.50	48.60	48.44	12.16	2	1			5.0	2.3				0.1		81.1		14.8			8.7			45.2			21.2		
49.5	48.6	48.4	12.1	2	1										81		14.8			8			45			21		

建 込 簡 易 土 留 工									
シ ン グ ル レ ー ル								ダ ブ ル レ ー ル	
H=1.5m m	H=2.0m m	H=2.5m m	H=3.0m m	H=3.5m m	H=4.0m m	H=4.5m m	H=5.0m m	H=5.5m m	H=6.0m m
	46.00	2.50							
	46.0	2.5							

付 帯 工										As造処分工						
県道仮復旧						町道アスファルト舗装				砂利道	舗装切削工		舗装取壊工		As造処分工	
表 層 工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工	路 盤 工	路 盤 工	表 層 工	路面補修工	上層路盤工	下層路盤工							
再生粗粒 t=5cm	t=2cm	M25-0 t=15cm	CF40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	RC40-0 t=35cm	AS20F t=4cm	M25-0 t=10cm	M25-0 t=10cm	RC40-0 t=25cm	RC40-0 t=35cm	アスファルト t=15cm迄	AS 舗 装 t=15cm迄	AS 舗 装 t=15cm以上	AS 舗 装 t=15cm迄	AS 舗 装 t=15cm以上	
m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	
						2.3		2.3	43.7							

加重平均深		1.85	2.03								1.86
-------	--	------	------	--	--	--	--	--	--	--	------

1 号 組 立 マ ン ホ ー ル 材 料																									
人 孔 蓋		調整モルタル工		調 整 リ ン グ			斜 壁			直 壁 ブ ロ ッ ク								軀 体 ブ ロ ッ ク						底 版	
T-14	T-25	20mm	40mm	5cm	10cm	15cm	30cm	45cm	60cm	30cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	210cm	240cm	60cm	90cm	120cm	150cm	180cm	210cm		240cm
組	組	箇所	箇所	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個		個
2		1	1		1	1	1	1													2				2

削 孔 費			ブ ロ ッ ク 据 付 工		底 部 工			副 管 工 (外副管)						
本 管 部		取 付 管 部	1.2 < H	3.0m < H	標 準	基 礎 の み	インバートの のみ	平 均 延 長	設 置 数	取付管用 受け直管	可換継手 支管	カ ラ ー 管	曲 管	砕 石 基 礎 工
VU	VU	VU	≤3.0	平 均										
150mm	200mm	100mm	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	m	箇所	150mm	200×150	150mm	150mm	箇所当り
箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	箇所	m	箇所	150mm	200×150	150mm	150mm	箇所当り
1	1		2		2									

小口径マンホール				
立管長 200mm		防護蓋 T-14	防護蓋 T-25	その他 部材等
(m)	(箇所)	(組)	(組)	小口径マン ホール数量 表による

[illegible]

付 帯 工 集 計 ( 本 管 部 + 取 付 管 部 + 影 響 部 )																		
舗装切断工		舗装版取り壊し工		As殻処分工		投 棄 料 等	表 層 工					表 層 工	上層路盤工	下層路盤工	砂 利 道	埋設表示シート		埋設表示テープ
AS舗装	AS舗装	AS舗装	AS舗装	AS舗装	AS舗装	スファルト塊処分費	再生粗粒					As20F	M25-0	RC40-0	RC40-0			
t=15cm迄	t=15cm以上	t=15cm迄	t=15cm以上	t=15cm迄	t=15cm以上	t	t=5cm					t=4cm	t=10cm	t=25cm	t=35cm	φ40cm	φ15cm	φ3cm
㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	t	㎡					㎡	㎡	㎡	㎡	m	m	m
9.00		6.30		0.3		0.7						6.3	6.3	51.9		48.44		48.44
9		6		0.3		0.7						6	6	51		48		48

割込マンホール				土工		既存管路部VUφ200				
掘削工		MR基礎工	管路基礎工	発生土埋戻工	粘土配分工	土留工				
機 種	RC40-0	投入機種	投入機種	投入機種	投入機種	陸留土留	数量損失率	サリトリ量	管布投入	管切断工
0.45B.H		0.45B.H	0.45B.H	0.45B.H	0.45B.H	H=3.0	H=3.0		φ200	φ200
m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	m	m	本	口	口
9.9	4.0	0.5	6.60			2.0	2.0	1	0.4	2
9	4	0.5	6			2	2	1	0.4	2

(土工数量調書) 令和6年度 町単独 宅地造成関連 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)

[illegible]

(管渠数量調書) 令和6年度 町単独 宅地造成関連 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)

[illegible]

令和6年度 町単独 宅地造成関連 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)

[illegible]

# 建て込み簡易土留め工

( L = 2.00 m ) ( 軽量型 )

## 1) 設 計 条 件

1. 管 径 150 mm
2. 管 種 塩ビ管
3. 施工延長 46.00 m
4. 掘削方法 BH-0.28
5. 掘削幅 0.90 m
6. 掘削深 1.85 m
7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土)
8. 締切延長 30.00 m
9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 30.00m当り

## 2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = ( L × W × H ) ÷ Q (歩掛P15)

(D1) = ( 1.85 − 1.00 ) m × 0.90 m × 30.00 m ÷ 59.00 m3/日 = 0.39 日 ①

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

(D2) = ( 0.20 ÷ 10.00 m ) × 30.00 m = 0.6 日 ②

掘削工合計日数 ①+②

0.99 日

3. 基 礎 工 (D3) (歩掛 I -11-①-17)

基礎土量 = ( 0.90 m × 0.365 m − 0.021 m<sup>2</sup> ) × 30.00 m =

(D3) = 9.23 m3 / 36.0 m3/日 =

9.23 m<sup>3</sup>

0.26 日 ③ 全 体 日 数 = 46.00 m ÷ 30.00 m ×

4. 管布設工 (D4) ( 管 種 : 塩ビ管 ) (歩掛P93)

(D4) = 30.00 × 0.012 人/m/日 = 0.36 日 ④

5. 引抜き埋戻し工 (D5) ( 機 械 転 圧 部 分 ) (歩掛P18)

埋戻し土量 = 30.00 m × (1.85 m − 1.365 m) × 0.90 m = 13.1 m<sup>3</sup>

(D5) = 13.10 m3 ÷ 36.00 m3/日 = 0.36 日 ⑤

工 程 表

日 数	5	10	日 数
工 種			
掘削及び建て込み工	0.99		0.99
基 礎 工	0.86 1.12		0.26
管 布 設 工	0.99 1.35		0.36
引抜き及び埋戻し工	0.99 1.35		0.36
水 替 え 工			0.62

損 料 日 数 計 = 46.00 m ÷ 30.00 m × 1.43日 = 2.19日 × 1.3 = 2.85 日

9.23 m<sup>3</sup> 水 替 日 数 計 = 46.00 m ÷ 30.00 m × 日 = 日

0.26 日 ③ 全 体 日 数 = 46.00 m ÷ 30.00 m × 日

## 建て込み簡易土留め工

( L = 2.50 m )

( 軽量型 )

### 1) 設 計 条 件

1. 管 径 150 mm 2. 管 種 塩ビ管 3. 施工延長 2.50 m

4. 掘削方法 BH-0.28 5. 掘削幅 0.90 m 6. 掘削深 2.03 m

7. 土 質 (粘性土・レキ混じり土) 8. 締切延長 2.50 m

9. トラッククレーン規格 4.9 t 吊り

日数算出根拠 2.50m当り

### 2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) = ( L × W × H ) ÷ Q (歩掛P15)

(D1) = ( 2.03 - 1.00 ) m × 0.90 m × 2.50 m ÷ 59.00 m<sup>3</sup>/日 = 0.04 日 ①

2. 建て込み簡易土留建て込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

(D2) = ( 0.23 ÷ 10.00 m ) × 2.50 m = 0.06 日 ②

掘削工合計日数 ①+②

0.10 日

3. 基 礎 工 (D3) (歩掛 I-11-①-17)

基礎土量 = ( 0.90 m × 0.365 m - 0.021 m<sup>2</sup> ) × 2.50 m =

(D3) = 0.77 m<sup>3</sup> / 36.0 m<sup>3</sup>/日 =

0.77 m<sup>3</sup>

0.02 日 ③

4. 管布設工 (D4) ( 管 種 : 塩ビ管 ) (歩掛P93)

(D4) = 2.50 × 0.012 人/m/日 = 0.03 日 ④

5. 引抜き埋戻し工 (D5) ( 機 械 転 圧 部 分 ) (歩掛P18)

埋戻し土量 = 2.50 m × (2.03 m - 1.365 m) × 0.90 m = 1.5 m<sup>3</sup>

(D5) = 1.50 m<sup>3</sup> ÷ 36.00 m<sup>3</sup>/日 = 0.04 日 ⑤

### 工 程 表

工 種	日 数	日 数
掘削及び建込み工	0.10	0.10
基 礎 工	0.09 0.11	0.02
管 布 設 工	0.10 0.13	0.03
引抜き及び埋戻し工	0.10 0.14	0.04
水 替 え 工		0.05

損 料 日 数 計 = 2.50 m ÷ 2.50 m × 0.14 日 = 0.14 日 × 1.3 = 0.18 日

0.77 m<sup>3</sup> 水 替 日 数 計 = 2.50 m ÷ 2.50 m × 日 = 日

0.02 日 ③ 全 体 日 数 = 2.50 m ÷ 2.50 m × 日



(人孔数量調書) 令和6年度 町単独 宅地造成関連 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)

1号組立マンホール数量表 本管内径 150 mm下水道用硬質塩化ビニール管																																						
路線 番号	人孔 番号	人孔 深さ	組立 高さ	マンホール				副管		底版	マンホール材料																備考											
				現況地盤高	流入管底 高さ	流出管底 高さ	落差	副管 径	直管 長		躯体ブロック								直壁ブロック																			
											60	90	120	150	180	210	240	30	60	90	120	150	180	210	240	斜壁			調整リング		調整モルタル工		蓋	削孔				
No.	No.	m	m	m	m	m	m	mm	m	個	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	cm	mm	mm	11cm T-14 T-25	100 mm	150 mm	200 mm			
682-1	682-1-1	1.89	1.95	768.65		766.763				1				1												1							1					底部工
682	682-3	2.02	2.08	767.74	765.773 765.723	765.723	0.050			1				1												1			1				1			1		底部工
小計	変更当初									2				2												1	1			1	1	1	1	2			1	1
合計	変更当初									2				2												1	1			1	1	1	1	2			1	1

# (汚水柵及び取付管工集計表 未舗装)

令和6年度 町単独 宅地造成関連 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)

名 称	規格寸法	計 算 式	数 量	名 称	規格寸法	計算式	数 量
鉄蓋(内蓋共)	重車用	取付管数量調書より	組	掘 削 工	油圧式0.20m3級B.H	$3.12 \times 3$	9.4 m <sup>3</sup>
鉄蓋(内蓋共)	軽車用	取付管数量調書より	3 組	砂基礎工	洗砂(投入機種0.20B.H)	$0.54 \times 3$	1.6 m <sup>3</sup>
標 準 蓋		取付管数量調書より	個	発生土 埋戻工管頂10cm～30cm	洗砂(投入機種0.20B.H)	$0.44 \times 3$	1.3 m <sup>3</sup>
汚水柵(三方向流入タイプ)	横型φ200-100×100	取付管数量調書より	3 個	埋 戻 工	発生土		m <sup>3</sup>
汚水柵(三方向流入タイプ)	縦型φ200-100×100	取付管数量調書より	個	埋 戻 工	良質土		m <sup>3</sup>
ゴム製可撓支管	RVRφ150mm×φ100mm(90°)	取付管数量調書より	3 個	埋 戻 工	発生土	$1.63 \times 3$	4.9 m <sup>3</sup>
支管取付工	φ150mm×100mm	取付管数量調書より	3 箇所	残土処分工	一般土砂	$0.82 \times 3$	2.5 m <sup>3</sup>
自在曲管	SRφ100mm×45°～60°	取付管数量調書より	6 個	As舗装切断工	t<15cm		m
曲 管	SRφ100mm×90°(ST)	取付管数量調書より	個	舗装版取壊工	アスファルト		m <sup>2</sup>
可撓継手	φ100mm用	取付管数量調書より	組	As殻処分工	油圧式0.35m3級B.H t=15cm迄		m <sup>3</sup>
プレーンエンド直管	φ150mm L=4m		m	路面補修工	CR25-0 t=10cm		m <sup>2</sup>
プレーンエンド直管	φ200mm L=4m		m	表 層 工	町道アスファルト舗装 t=4cm		m <sup>2</sup>
取付管布設工	φ100mm	$2.91 \times 3+0$	8.73 m	上層路盤工	M25-0 t=10cm		m <sup>2</sup>
取付管用片受け直管	φ100mm L=4m	$(2.91 \times 3+0) \div 4$	2.18 本	下層路盤工	CR40-0 t=25cm	$1.39 \times 3$	4.2 m <sup>2</sup>
				砂 利 道	CR40-0 t=10cm		m <sup>2</sup>

(取付管1箇所当たり数量計算調書 未舗装)

令和6年度 町単独 宅地造成関連 特環公共下水道管渠埋設工事( 1工区)

取付管数量調書より	
官地部平均掘削延長L	1.97m
平均水路幅W1	0.42m
本管平均掘削幅B/2	0.45m
本管平均掘削深H	1.86m
平均汚水樹深H1	1.10m
取付管勾配i	20‰
宅地部平均掘削延長L7	1.00m
本管平均土被りh	1.595m
取付管延長L4 $\sqrt{(H3^2+L3^2)}$	$\sqrt{(0.495^2+2.87^2)}=2.91m$
樹土工本管側掘削深H4 $H2+L5 \times i$	$1.20+2.42 \times 20\text{‰}=1.25m$
樹土工平均掘削深H5 $(H2+H4)/2$	$(1.20+1.25)/2=1.23m$

種 別	計 算 式	計 算	数 量
掘削工	$(B4+B2)/2 \times (H5-H6) \times L1$ $+(B4+B3)/2 \times H5 \times (L7+0.1)$	$(0.600+1.338)/2 \times (1.23-0.00) \times 1.52+(0.600+1.338)/2 \times 1.23 \times (1.00+0.1)$	3.12 $m^3$
砂基礎工	$[(B4+B5)/2 \times H12$ -取付管断面積] $\times L6$	$[(0.600+0.788)/2 \times 0.314-0.010] \times 2.62$	0.54 $m^3$
発生土埋戻 工管頂10cm ～30cm	$[(B5+B6)/2 \times H10] \times L6$	$[(0.788+0.908)/2 \times 0.20] \times 2.62$	0.44 $m^3$
碎石埋戻工			$m^3$
良質土埋戻工			$m^3$
発生土埋戻工	$(B6+B7)/2 \times H9 \times L1$ $(B6+B3)/2 \times H11 \times (L7+0.1)$	$[(0.908+1.188)/2 \times 0.466] \times 1.52+(0.908+1.338)/2 \times 0.716 \times (1.00+0.1)$	1.63 $m^3$
残土処分工	掘削工-発生土埋戻工/0.9	$3.12-(0.44+1.63)/0.9$	0.82 $m^3$
As舗装切断工			m
アスファルト 舗装版取壊工			$m^2$
As殻処分工			$m^3$
路面補修工			$m^2$
表層工			$m^2$
上層路盤工			$m^2$
下層路盤工	$(B7+B2)/2 \times L2$	$(1.188+1.338)/2 \times 1.10$	1.39 $m^2$
砂 利 道			$m^2$

(取付管数量調書 未舗装)

令和6年度 町単独 宅地造成関連 特環公共下水道管渠埋設工事(1工区)

路線 番号	人孔番号		所有者名	官地延長	民地延長	水路等の減長	管掘削の幅 1/2	取付位置	鉄蓋内共	鉄蓋内共	標準蓋 φ200	汚水樹	汚水樹	プレーンエンド直管	プレーンエンド直管	樹の深さ	有効樹深	ゴム製可撓支管	自在曲管	S T曲管	可撓継手	備考
	上流	下流							(重車)	(軽車)		横型	縦型	φ200	φ150			φ100	φ100	φ100	φ100	
No.	No.	No.		m	m	m	m		組	組	個	個	個	m	m	m	m	個	本	本	組	
682-1	682-1-1	682-3	区画①	2.02	1.00	0.42	0.45	左		1		1		0.82		1.10	1.10	1	2			
682-1	682-1-1	682-3	区画②	2.02	1.00	0.42	0.45	左		1		1		0.82		1.10	1.10	1	2			
682-1	682-1-1	682-3	区画③	1.88	1.00	0.42	0.45	左		1		1		0.82		1.10	1.10	1	2			
合計	変更																					
	当初		3箇所	5.92 1.97	3.00 1.00	1.26 0.42	1.35 0.45			3		3		2.46 0.82		3.30 1.10	3.30 1.10	3	6			



名 称	計 算 式		数 量
割込マンホールMH			
1. 掘削工			
	1) 2.0 × 2.0 × ( 2.517 - 0.04 ) =	9.91 =	9.9 m3
2. 基礎工			
MH部 t=0.2m RC-40-0	1) 2.0 × 2.0 =	4.00 =	4.0 m2
φ200 管渠部 砂	2) ( 0.95 × 0.416 - 0.037 ) × ( 2.00 - 1.05 ) =	0.34 =	0.3 m3
φ150 管渠部 砂	3) ( 0.90 × 0.365 - 0.021 ) × ( 1.00 - 0.525 ) =	0.15 =	0.2 m3
3. 発生土埋戻工			
控除量算出			
	管渠基礎部 0.49 m3		
	副管部 0.00 m3		
	MH底板部 0.12 m3		
	MH<体部 0.43 m3		
	MH斜壁部 0.12 m3		
	計 = 1.16		
	1) 2.0 × 2.0 × 1.927 - 1.16 =	6.55 =	6.6 m3
4. 残土処理工			
	1) 9.9 - 6.6 ÷ 0.90 =	2.57 =	2.6 m3
5. 土留工			
建込簡易土留 H=3.0	1) 2.0	2.00 =	2.0 m
軽量鋼矢板建込工 H=3.0	2) 2.0	2.00 =	2.0 m
6. 舗装切断工	道路幅員 本		
	1) 2 × 2 =	4.00 =	4.0 m
7. 舗装復旧工			
	1) 2 × 2 =	4.00 =	4.0 m2
8. 管材料			
ヤリトリ継手 φ200	1)	1 =	1 本
9. 管布設工			
塩ビ管 φ200	1)	0.4 =	0.4 m
10. 管切断工			
塩ビ管 φ200	1)	2 =	2 口

# 建て込み簡易土留め工 (割込MH設置)

( L= 3.00 m )

( 軽量型 )

## 1) 設 計 条 件

	150 mm				
1. 管 径	200 mm	2. 管 種	塩ビ管	3. 施工延長	2.00 m
4. 掘削方法	BH-0.28	5. 掘削幅	2.00 m	6. 掘削深	2.52 m
7. 土 質	(粘性土・レキ混じり土)			8. 締切延長	2.00 m
9. トラッククレーン規格	4.9 t 吊り				

日数算出根拠 2.00m当り

## 2) 施工時間

1. 掘削時間の算定 (D1) =( L×W×H ) ÷ Q (歩掛P15)

$$(D1) = ( 2.52 - 1.00 ) m \times 2.00 m \times 2.00 m \div 59.00 m^3/日 = 0.10 日 \textcircled{1}$$

2. 建込み簡易土留建込み時間の算定 (D2) (歩掛P38)

$$(D2) = ( 0.27 \div 10.00 m ) \times 2.00 m = 0.05 日 \textcircled{2}$$

掘削工合計日数 ①+②

3-1. 基礎工 (D3-1) (歩掛 I-11-①-17)

$$\text{基礎土量} = ( 2.00 m \times 0.20 m ) \times 2.00 m = 0.80 m^3$$

3-2. MH設置工 (D3-2)

$$1号MH=0.25 日/箇所$$

$$(D3) = 0.80 m^3 / 36.0 m^3/日 + 5.4 日 = 0.27 日 \textcircled{3}$$

4. 管布設工 (D4) ( 管 種 : 塩ビ管 ) (歩掛P93)

$$(D4) = 1.10 \times 0.015 \text{ 人/日} + 0.55 \times 0.012 \text{ 人/日} = 0.02 日 \textcircled{4}$$

5. 引抜き埋戻し工 (D5) ( 機 械 転 圧 部 分 ) (歩掛P18)

$$\text{埋戻し土量} = 2.00 m \times ( 2.52 m - 1.2 m ) \times 2.00 m = 5.28 m^3$$

$$(D5) = 5.28 m^3 \div 36.00 m^3/日 = 0.15 日 \textcircled{5}$$

## 工 程 表

日 数	5	10	日 数
工 種			
掘削及び建込み工	0.15		0.15
基礎工+MH置工			0.27
管 布 設 工	0.15 0.17		0.02
引抜き及び埋戻し工	0.15 0.30		0.15
水 替 え 工			0.29

$$\text{損 料 日 数 計} = 2.00 m \div 2.00 m \times 0.52 日 = 0.52 日 \times 1.3 = 0.68 \div 0.68 日$$

$$\text{水 替 日 数 計} = 2.00 m \div 2.00 m \times \text{日} = \text{日}$$

$$0.25 日$$

$$0.27 日 \textcircled{3} \text{ 全 体 日 数} = 2.00 m \div 2.00 m \times \text{日}$$

軽 量 鋼 矢 板 工 工 程 表		2m当り
工 種		
掘	削	0.2
軽 量 設 置		0.1+0
		0.1 0.1 0.2
MH設置、基礎、管布設		0.1+0.2
		0.15 0.3 0.5
埋	戻	0.3 0.2 0.5
軽 量 撤 去		0.5 0.04 0.5
実 日 数		0.5 日

延長＝ 2.00 m

工 期

2.00m / 2.00m × 0.5日 × 1.3 + 14日

＝ 15日

土留損料日数

2.00m / 2.00m × 0.5日 × 1.3

＝ 0.6日

水替え日数(作業時)

2.00m / 2.00m × 0.3日

＝ 0.30日

軽量鋼矢板1ロット当たり施工実日数の算定
 (1ロット = 30m)  
 H = 2.52 m  
 2m当り

1. 掘削日数(d1)
 0.2 日

バックホウ掘削日数  
 掘削土量
 2.52 m × 2 m × 2 m = 10.1 m<sup>3</sup> (D)

種 別	A 1m <sup>3</sup> 当歩係	B 構 成	C=A/B 1m <sup>3</sup> 当り日数	C×D 2m当り日数
掘 削	バックホウ0.28		0.0169	0.0169
1日当り掘削土量	59 m <sup>3</sup> / 日			0.2 日

2. 軽量鋼矢板設置日数(d2)
 0.1 日

矢板設置(d'2)

種 別	A 100m当り歩掛	B 構 成	C=A/B 100m当り日数	C×2/100 2m当り日数
世 話 役	2.80 人	1.0	2.80	0.06
特殊作業員	2.80 人	1.0	2.80	0.06
普通作業員	8.40 人	3.0	2.80	0.06
				0.06 日

支保工設置(d''2)

種 別	A 100m当り歩掛	B 構 成	C=A/B 100m当り日数	C×2/100 2m当り日数
腹起し(軽量金属)				
世 話 役	0.80 人	1.0	0.80	0.02
特殊作業員	0.80 人	1.0	0.80	0.02
普通作業員	2.40 人	3.0	0.80	0.02
切梁(水圧式)				
世 話 役	0.40 人	1.0	0.40	0.01
特殊作業員	0.40 人	1.0	0.40	0.01
普通作業員	1.20 人	3.0	0.40	0.01
				0.01 日

d2 = d'2 + d''2 = 0.06 + 0.02 + 0.01 = 0.1 日

3. MH設置、基礎及び管布設日数(d3)
 0.3 日

砂基礎日数(d'3)
 0.154m<sup>3</sup>/ m × 2 m = 0.3 m<sup>3</sup> (D)

砂基礎土量
 0.442m<sup>3</sup>/ m × 2 m = 0.9 m<sup>3</sup> (D)

1号HM設置日数					
	1 箇所	／	4 箇所	／ 日	= 0.25 日
1日当り締固日数					
	1.2 m <sup>3</sup>	／	36 m <sup>3</sup> / 日		= 0.03 日
副管設置日数					
	0 箇所	／	6.66 箇所	／ 日 + 0 日	= 0.00 日
締 固 め	タン パ		36 m <sup>3</sup>		
					0.28 日

管布設日数(d''3)

種 別	A 10m当り歩掛	B 構 成	C=A/B 10m当り日数	C×2/10 2m当り日数
世 話 役 ( φ	0.150 人	1.0	0.150	0.03
世 話 役 ( φ	0.120 人	1.0	0.120	0.02
				0.05 日

d3 = d'3 + d''3 = 0.28 + 0.05 = 0.33 日

4. 埋戻し日数(d4)
 0.2 日

埋戻し土量
 6.60 m<sup>3</sup> (D)

1日当り締固日数					
	6.60 m <sup>3</sup>	／	36 m <sup>3</sup> / 日		= 0.2 日
締 固 め	タン パ		36 m <sup>3</sup>		
					0.2 日

5. 軽量鋼矢板撤去日数(d5)
 0.04 日

矢板撤去(d'5)

種 別	A 100m当り歩掛	B 構 成	C=A/B 100m当り日数	C×2/100 2m当り日数
世 話 役	1.00 人	1.0	1.00	0.02
特殊作業員	1.00 人	1.0	1.00	0.02
普通作業員	3.00 人	3.0	1.00	0.02
				0.02 日

支保工撤去(d''5)

種 別	A 100m当り歩掛	B 構 成	C=A/B 100m当り日数	C×2/100 2m当り日数
腹起し(軽量金属)				
世 話 役	0.60 人	1.0	0.60	0.01
特殊作業員	0.60 人	1.0	0.60	0.01
普通作業員	1.80 人	3.0	0.60	0.01
切梁(水圧式)				
世 話 役	0.40 人	1.0	0.40	0.01
特殊作業員	0.40 人	1.0	0.40	0.01
普通作業員	1.20 人	3.0	0.40	0.01
				0.01 日

d5 = d'5 + d''5 = 0.02 + 0.01 + 0.01 = 0.04 日